

考察

- 急性期経口摂取不可 → 3ヵ月後に1/4が獲得
- 経口摂取獲得の予測因子
 - 脂質異常症・高血圧 → 再発や無症候性病変が増加？
 - 心原性脳塞栓症 → 大脳皮質を含む広範病変や、島皮質など嚥下機能に関連する特定の領域が影響か
 - 若年 → リハビリの効果が得られやすい
 - 発症前mRSスコア 0 → 脳卒中に限らず、種々の原因によるADL低下がないことが重要
 - NIHSSスコア：入院時より10日後のスコアがより強く相関
→ 病態が安定してからの脳卒中重症度が重要